

[005]鷹・鷹場・環境研究

<https://hdl.handle.net/2324/4377862>

出版情報：鷹・鷹場・環境研究. 5, 2021-03-20. Faculty of Art and Science, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

鷹・鷹場・環境研究会

2020 年度活動記録

<研究会メンバー>

○代表

福田千鶴 九州大学基幹教育院教授

○研究分担者

武井弘一 (副代表) 琉球大学国際地域創造学部
准教授

東 幸代 滋賀県立大学人間文化学部教授

伊藤昭弘 佐賀大学地域学歴史文化研究センター
教授 (センター長)

岩淵令治 学習院女子大学国際文化交流学部
教授

江藤彰彦 久留米大学経済学部特任教授

大賀郁夫 宮崎公立大学人文学部教授

大坪 舞 佐世保工業高等専門学校講師

籠橋俊光 東北大学大学院文学研究科准教授

兼平賢治 東海大学文学部准教授

相馬拓也 京都大学白眉センター特定准教授

中澤克昭 上智大学文学部教授

東 昇 京都府立大学文学部准教授

久井貴世 北海道大学大学院文学研究院准教授

藤實久美子 国文学研究資料館研究部アーカイ
ブズ系教授

堀田幸義 宮城教育大学教育学部教授

水野裕史 筑波大学芸術系助教

森田喜久男 淑徳大学人文学部教授

安田章人 九州大学基幹教育院准教授

渡部浩二 新潟県立歴史博物館専門研究員

○研究協力者

榎森 進 東北学院大学名誉教授

来見田博基 鳥取県立博物館主任学芸員

中野渡一耕 青森県環境政策課総括主幹

山崎久登 東京都立砂川高等学校教諭

越坂裕太 九州大学人文科学府博士後期課程

(2020年8月まで日本学術振興会特別研究員 DC1、9月より (公財) 郡山城史跡・柳沢文庫保存会学芸員)

丸山大輝 長崎県対馬歴史研究センター学芸員

<研究会・調査等の開催>

[研究会]

第6回研究会(オンライン開催)

日時: 2020年11月15日(日)

山崎久登(東京都立砂川高等学校教諭)

「鷹場領主論—尾張藩士横井家の鷹場を事例に—」

尾張藩士である横井家鷹場を事例として、「鷹場領主」がどのような人材登用を行ったのかを検討した。嘉永4年(1851)に横井家鷹場が拡大し、鷹場支配機構が大きく改変され、鷹場奉行や鷹場役所が新設された。さらに、鷹場住人を鷹場役人として登用し(鷹場見廻役・餌差役・川守役)、横井家家中へと組み入れていった。これら鷹場制度の改革を通じて、横井家は鷹場領主としての意識も確立させたと位置づけた。

質疑応答では、新設された鷹場役所の中間支配機構としての位置づけや鷹場役人の鷹匠としての性格、鷹場住人の意識などについての検討が深められた。

[講演会・学会報告等]

○2020年9月5日(土)

第59回近世史サマーセミナー(WEB)

領主支配・地域・環境(鷹狩)分科会

場所: Zoom

丸山大輝「近世初期における鷹の諸相と調教」

○2021年1月31日(日)

第 105 回異類の会

場所：Zoom

大坪舞「はとや説話考」

○2021 年 2 月 20 日（土）

令和 2 年度第 5 回柳沢文庫歴史塾（郡山学）

場所：DMG MORI やまと郡山城ホール

越坂裕太「柳澤吉里の「御鷹」献上—江戸時代の鷹狩と享保改革—」

○Canon ギャラリー写真展「草原ノ民 Portrait in Kazakh」展（監修：相馬拓也／写真：稲田喬晃）

（2021 年 2 月 25 日～3 月 10 日：Canon ギャラリー一銀座）

○Takuya SOMA. 2021. Re-evaluate Ethno-Ornithological Recognitions of Kazakh Eagle Falconry for Conservation of Golden Eagle, Western Mongolia. The 15th International Symposium on Primatology and Wildlife Science. 京都大学 野生動物研究センター（2021 年 3 月 1 日(月)開催）

〔刊行物等〕

○久井貴世「絵馬に描かれた長州藩の鷹狩」(『鴻城鎮護』23 号、2020 年 5 月、5 頁)

○兼平賢治『近世武家社会の形成と展開』（吉川弘文館、2020 年 6 月）

○相馬拓也 2020. 遊牧民と動物、地図生成への導きのコスモロジー, ユリイカ 令和 2 年 6 月号 (no.759): pp.275-283.

○久井貴世「時空を超えて広がるアイヌの世界 第 6 回 コタンに春を告げるホホチリ(ウグイス)」(『グリーン・パワー』498 号、2020 年 7 月、21 頁)

○久井貴世「時空を超えて広がるアイヌの世界 第 10 回 舟を彫るチプタチカプ(クマゲラ)」(『グリーン・パワー』502 号、2020 年 11 月、21 頁)

○久井貴世「文献史料から鳥類の歴史を調べる—ツルの同定と分布の事例」（黒沢令子・江田真毅編『時間軸で探る日本の鳥—復元生態学の礎』築地書館、2021 年 2 月、155-187 頁）

○兼平賢治「第 4 章 岩沼の馬」(『岩沼市史』通史編Ⅱ・近世、宮城県岩沼市、2021 年 3 月)

〔研究会出版物〕

福田千鶴・武井弘一編『鷹狩の日本史』（勉誠出版、2021 年 2 月刊）

序 章 鷹狩の日本史 福田 千鶴

第一部 古代から近世までの通史的展開

第一章 古代日本の鷹狩 森田喜久男

第二章 中世日本の鷹狩 中澤 克昭

第三章 近世日本の鷹狩 武井 弘一

コラム 1 鷹・馬・犬からみた生類憐みの令 兼平 賢治

コラム 2 山林原野の明治維新と御猟場 江藤 彰彦

第二部 鷹と人との関係史

第四章 鷹の種類と調教 福田 千鶴

コラム 3 琉球の鷹狩儀礼と生態系 武井 弘一

第五章 鷹狩をめぐる江戸時代のツルの「保護」と人との関わり 久井 貴世

第六章 琵琶湖の水鳥猟と鷹場 東 幸代

コラム 4 鳥取藩「湖山鴨堀」と周辺環境 来見田博基

第七章 越後国村上藩主松平直矩の鷹と鷹狩 渡部 浩二

第八章 大洲藩の狩—御鷹野場と生業 東 昇

第九章 尾張藩家臣の鷹場—鷹場は人々の生活にどう関わったか 山崎 久登

コラム5 「サダ六とシロ」の物語

福田 千鶴

第三部 日本列島における鷹の諸相

第十章 「御鷹」の献上・下賜

越坂 裕太

コラム6 「御鷹」拝領と「御鷹ニ而捉飼」

鳥類の時献上—武鑑を糸口に 藤實久美子

第十一章 松前藩と鷹鳥屋場知行

榎森 進

コラム7 将軍の鷹と馬 兼平 賢治

第十二章 盛岡藩の鷹と巢鷹の捕獲

中野渡一耕

コラム8 参勤交代にみる鷹の役割

来見田博基

第十三章 南九州における鷹巢山について—

米良山を中心に 大賀 郁夫

第四部 鷹狩文化を担った人々

第十四章 鷹詞と有職故実 大坪 舞

第十五章 鷹狩の絵画—近世初期における鷹

狩への眼差し— 水野 裕史

第十六章 鍋島勝茂と鷹 伊藤 昭弘

第十七章 鷹匠として生きる武士たち

堀田 幸義

コラム9 江戸における鷹匠の交流

岩淵 令治

第十八章 鷹書と出版文化 藤實久美子

コラム10 越境する鷹狩文化—中央ユーラシ

アを駆ける鷹狩と鷹匠の世界

相馬 拓也

あとがき

武井 弘一

執筆者一覧

掲載図版一覧

鷹狩年表

索引

○『鷹・鷹場・環境研究』vol.5 (2021年3月)

○ホームページの更新

<http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~hhe-kaken/>

○NEWS LETTER『鷹・鷹場と環境 NEWS』

No.10 (2021年2月刊行、HP上で公開)

○NEWS LETTER 総集号 (2021年3月)

